

第3期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略
有識者会議（第1回）議事録

日時 令和6年9月27日（金） 午前10時00分～午前11時45分

場所 403 会議室

次第	
1.	開会
2.	市あいさつ
3.	座長・副座長互選
4.	座長あいさつ
5.	策定方針について
6.	第2期総合戦略の達成状況について
7.	人口動向分析、将来人口推計及び前回推計との比較について

出席者		
1.	野田 遊	同志社大学政策学部教授(座長)
2.	安達 晃史	同志社大学政策学部准教授(副座長)
3.	小長谷 敦子	公認会計士・税理士
4.	塩谷 明大	京都銀行田辺支店 支店長
5.	鈴木 俊寛	京田辺市商工会 会長
6.	眞部 祐子	ワードローブリフレッシュ 代表
7.	和田 朋	同志社女子大学 学生
	事務局	企画調整室

議事：（次第 7）第 2 期総合戦略の達成状況について

【各委員からの意見】

○インバウンドについて

- ・街中の案内を多言語化し、インバウンドの取込みにつなげるべき。
- ・インバウンドの点で、京都と奈良を訪れる観光客に本市へ立ち寄ってもらうため、見どころをパッケージ化して英語等で案内してみては。
- ・本市が他の市町に先駆けて積極的に情報を発信することが重要。
- ・円安の影響もあり、インバウンドが増えれば良い効果を期待できそう。

○ふるさと納税について

- ・他市でクラウドファンディングを活用して加工品を作っている事例がある。こうした方法も活用してみては。

○キャラクターについて

- ・海外のこどもにもアニメの「一休さん」を知っている人は多いそうだが、活用出来ないか。
- ・親子向けの施策として、図書館で本を読み、一休寺にも行って話を聞く、というものはどうか。
- ・既存のアニメのキャラクターだと著作権の関係があり、ハードルが高いと聞いている。一方、市で作成したキャラクターは認知度が低くなりがちである。
- ・全国的にキャラクターのデザインを公募し、数年かけて PR するといった、2 段階で認知させる方法はどうか。
- ・観光協会が展開している一休さんのキャラクターは公募で決まった。
- ・「くまモン」の事例を鑑みると、権利関係等のハードルの低さと知名度向上に至る戦略が成功要因と考えられる。
- ・一休寺や一休さんをコンテンツの一つとして PR するよう検討されたい。

○公共交通への満足度について

- ・交通空白地がどの程度あるか、GIS 等を活用し、原因や対応策を整理出来れば効率的では。
- ・路線自体は比較的くまなく通っている印象を受ける。本数や事業者の経営状況が課題か。

議事：(次第 8)人口動向分析、将来人口推計及び前回推計との比較について

【各委員からの意見】

○住宅事情と転入増加の可能性について

- ・開発されてから年月が経った住宅地では、高齢化や核家族化、親族の転居等により空家問題が生じるかと思う。
- ・周りにも本市への転居を希望する人はいるが、適した物件が流通していないし、情報もない。
- ・こうした情報を一元化し、マッチングを推進出来れば。
- ・本市では住宅価格が上昇傾向にある。空家や空家になりそうなところを活用すべき。

○転出超過となる年齢層と産業振興について

- ・大学卒業後の年齢層で転出超過になっている。賃金を稼げる場も必要ではないか。
- ・用地開発や道路拡幅により物流機能を高め、企業誘致につなげては。

(了)